

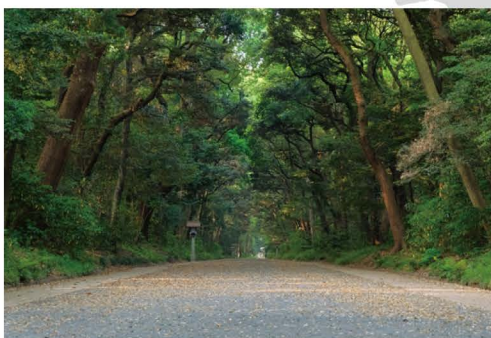
Q. 本多静六博士ってどんな人？

A. 日本各地の公園の設計に携わったことから、「日本の公園の父」と呼ばれています。

本多静六博士は、慶応2（1866）年7月2日に、武蔵国埼玉郡河原井村（現在の埼玉県久喜市菖蒲町河原井）の折原家に誕生しました。

日本初の林学博士として日本の造林学・造園学の基礎を築くとともに、産業振興など多方面にわたり活躍しました。

東京の日比谷公園、明治神宮の森をはじめ、埼玉の大宮公園など日本各地を代表する数百にも及び公園の設計に携わりました。



明治神宮の森



日比谷公園

設計 / 改良 / 地域振興に携わった全国の主な公園・温泉地

鶴ヶ城公園（福島県会津若松市）、清水公園（千葉県野田市）、懐古園（長野県小諸市）、臥竜公園（長野県須坂市）、岡崎公園（愛知県岡崎市）、舞鶴公園・中村公園（愛知県名古屋市）、城山公園（島根県松江市）、西公園（福岡県福岡市）



日本の公園の父

ほんだ せいろく

本多静六博士



本多静六記念館

開館日 日曜日～金曜日 9:00～17:00
休館日 土曜日・祝日（日曜日の場合は開館し、翌日休館）
年未年始
所在地 埼玉県久喜市菖蒲町新堀38
久喜市役所菖蒲総合支所5階
電話 0480-85-1111



本多静六記念館 久喜市

出生の地：埼玉県久喜市

久喜市は埼玉県東北部に位置する豊かな自然環境に恵まれたまちです。毎年7月には、賑やかな太鼓や笛のおはやしにのせ、四面に約500個の提灯をつけた提灯山車がまちなかを駆け巡るなど、夏の夜を彩る盛大なイベントである久喜提燈祭り「天王様」が開催されています。

